

和地ひとみレポート No.189

東大和市社会教育委員会が『生き生きとした地域づくりに向けて』提言を提出 「東大和市スポーツ推進計画」は策定される？

■提言の内容は

…東大和市社会教育委員会が平成26年7月より11回の会議を持ち、社会教育の視点から市民の生涯スポーツ振興と地域づくりを研究。また、東大和市のスポーツ環境や市民のスポーツに関わる現状、意識などを調査し、今年の年明けに「スポーツ、身近な運動と外遊びの充実を図る『東大和市スポーツ推進計画』の作成について～生き生きとした地域づくりに向けて～」という提言を取りまとめて、市に提出しました。

…今回提出された提言では、“生涯スポーツ”を「市民が人間の権利として生涯にわたりスポーツを楽しみ、心身の健康づくりを図る上で大切なもの、さらに、仲間づくり・人間関係づくりを通して地域づくりの上でも重要なもの」と考え、地域づくりを「人と人がつながっていくこと」と捉え作成したとのこと。また“スポーツ”という言葉については、H23年6月に公布された国の「スポーツ基本法」の前文にある「野外活動及びスポーツ・リクリエーション活動」をより広く捉えたとのこと。イメージとしては『東大和元気ゆうゆう体操』や高齢者が公民館ホールにおいて椅子に座っている運動、また、子どもが原っぱでする鬼ごっこ、隣近所の市民が連れ立って丘陵へでかける気軽な散歩なども大切にする事で地域づくりの入口にしたいと願ったとのこと。

■スポーツ推進計画とは

…今回出された提言には、『東大和市総合計画』と一体化した継続的、計画的な施策として『東大和市スポーツ推進計画』の策定が不可欠と考える」と書かれ、また、「有識者の講演、各種関係団体や学校関係者からの活動状況や問題点などの聞き取り、市内運動場や公園などのスポーツ、身近な運動と外遊び施設実情視察、そして他区市の『スポーツ推進計画』の資料収集を行い、実態把握を踏まえて調査研究した結果、早急に『東大和市スポーツ推進計画』の策定が望まれるという結論に至った」とも書かれています。

…ここで述べられている『スポーツ推進計画』とは、前述の「スポーツ基本法」第10条（スポーツ推進計画）の条文に書かれている「都道府県及び市町村の教育委員会は、スポーツ基本計画を参酌して、その地方の実情に即したスポーツの推進に関する計画（地方スポーツ推進計画）を定めるよう努めるものとする」というものです。

…条文で『努めるものとする』と書かれているので、『スポーツ推進計画』の策定は努力項目です。しかし、この「スポーツ基本法」施行の約50年前に施行された「ス

ポーツ振興法」（昭和36年6月公布）が出来た時から都内の他区市では「生涯教育についての意向調査」の中にスポーツ実施に関する調査項目を入れることが多く

なっており、この調査がスポーツ推進計画策定の基礎となっているとのこと。しかし、東大和市ではスポーツに関する調査は未実施となっています。

…文部科学省がH27年4月に発表した調査結果では、『市区町村のうち、スポーツ政策に係る計画を策定している割合は平成24年4月の時点で28.1%である』となっていますが、16%の自治体が策定を検討していると回答しています。さらに、東京都では東京オリンピック招致を受け、H25年からH32年（＝東京オリンピック開催年）に向けた新たなスポーツ推進指針として「東京都スポーツ推進計画」を策定。その影響からか、都内の区市町村もそれぞれの「スポーツ推進計画」を近年策定している状況です。おそらく、東大和市においても、東京オリンピック招致を受け、今回の提言を機に『東大和市スポーツ推進計画』の策定に向けて動き出すのではないかと予想します。



■東大和市の現状と課題は

…今回の提言で示された東大和市の現状には課題が多くあることが示されています。東大和市においては、週に1回以上運動をしている人の割合はH25年度の調査では約45.5%で10年前の調査の45.9%とほぼ同じ割合とのことですが、東京都全体のH24年度の53.9%には及んでいない状況です。ちなみに都の「スポーツ推進計画」のH32年のスポーツ実施率の目標値は世界のトップレベルの70%と設定しています。

…また、東大和市には「スポーツ基本法」の第32条（スポーツ推進委員）に示されている「スポーツ推進委員（15名、任期2年）」はいますが、スポーツの実技指導、スポーツに関する指導助言を行ってはいないものの、一般のスポーツリーダーを育成・登録し、体育施設などで指導にあたる制度や取り組みができていない状況です。その点について提言では「スポーツ推進委員や体育協会など既存の団体の協力で『スポーツリーダー要請講座』を開催し、地道に指導者を育成していくことが課題」とされています。（裏面に続く）

…さらに、東大和市のスポーツ施設は国の「スポーツ施設整備基準（1972年保健体育審議会答申）」の基準と比較してもスポーツ施設設置が遅れている状況で、多摩地区の同規模人口の他市と比較しても、運動場、テニスコート、体育館、プールの分野において整備の遅れがある状況とのこと。提言では「当面、野球・サッカー用運動場1面、テニスコート4面、体育館1ヶ所、室内プール1ヶ所の設置の検討が必要」とされています。

■ “まちづくり” を総合的に

…確かに、東大和市のスポーツ施設の不足は様々なところで言われています。また、議会でも取り上げられることも何度もある状況です。市は、基本的に計画のある事業を進めますので、今回の提言を受けて市が『東大和市スポーツ推進計画』を策定した場合は、今後はその計画実現のために、3年というスパンで作成される「実施計画」（大きな計画の実現のために行なう具体的な事業が書かれたもの）にも、スポーツ推進計画の事業が明記されていくことになるとと思います。

…しかし、スポーツ施設の設置には、土地と予算が必要なものが多くあります。市はこれまでもスポーツ施設の不足を補うべく警視庁のグラウンド、自治大のグラウンドとテニスコート、経済産業省研修所のグラウンドとテニスコートなどを市民が使用できるように交渉し、

使用可能とはなっていますが、まだ限定的となっている状況です。これらの施設利用の推進をするとともに、市内にある国有地、公有地等の大きな空き地の活用も積極的に進める必要も今以上に出てくると思います。

…前号では、「公園の特色化」について取り上げましたが、今回の提言を見ると、スポーツ推進計画と公園の特色化は無関係ではないと思います。また、介護予防、健康寿命の延伸、地域のコミュニティづくり、気軽に散策できるまちといった観光施策とも関連はあります。もちろん、学校教育（体育の授業、部活動、クラブ活動を含め）との連携も不可欠です。

…今回の提言では『東大和市スポーツ推進計画』の策定に当たっては、東大和市の自然、歴史、地域の良さを活かし『地域づくり』に向けた特色ある計画とし、また、心身に障害のある方、高齢者、妊産婦、子どもをはじめ『スポーツ』の機会に恵まれない市民のスポーツ、身近な運動や外遊びの充実を図る特色ある計画とするよう付言する」とされています。

…先に述べたように、今後、東大和市がスポーツ推進計画を策定し、その計画を実現するためには、土地などの物理的な問題と財源が必要となってきます。だからこそ、その他の計画との関連性、連携を再度見直し、効率的に総合的な視点で“まちづくり”を推し進めていくことが必要だと思えます。

■ 国の「スポーツ施設整備基準」と多摩地区同規模市の整備状況

※他市の広さ(㎡)は省略

市町村名 (人口:千人)		国の基準 (100)	東大和 (83)	小金井 (113)	昭島 (111)	稲城 (84)	あきる野 (81)	狛江 (76)	清瀬 (73)	国立 (73)
屋外 運動場	運動広場	10000㎡の 運動広場 6ヶ所	28277㎡ 3面	12006 2面	109769 15面	112535 12面	160031 18面	20726 3面	76691 6面	46878 5面
	コート	1560㎡の コート 10ヶ所 (20面)	3102㎡ 4面	13611 10面	10475 12面	12909 17面	10419 15面	6009 7面	8828 12面	6064 10面
室内 運動場	体育館	床720㎡の 体育館 5ヶ所 バスケ 5面	1820㎡ バスケ 2面	2131 バスケ 3面	2014 バスケ 3面	2802 バスケ 4面	3449 バスケ 4面	1607 バスケ 2面	1140 バスケ 1面	2211 バスケ 3面
	柔剣道場	床200㎡ 1ヶ所 (柔道1面)	458㎡ 2面	534 2面	404 2面	486 2面	845 5面	無し	無し	無し
プール 広さの()付きは屋外		床400㎡の 屋内プール 6ヶ所	(1523㎡) 屋外 1ヶ所	1249 屋内 2ヶ所	802 屋内 1ヶ所	(912) 屋外 3ヶ所	804 屋内 3ヶ所	(1086) 屋外 1ヶ所	(502) 屋外 1ヶ所	250 屋内 1ヶ所

市政、議会について「自然体」「ざっくばらん」にレポート。駅前配布するレポートは毎回、最新号です。

「私たちの身近にある市政、市議会。伝えることがスタートだと思います。」
【プロフィール】



1970年 東京都北区生まれ。父の転勤で1歳から群馬県で育つ。幼稚園からカギっ子。リーダーシップを発揮し、小学校で児童会長、中学校でも生徒会長を務める。大好きな音楽を究めようと武蔵野音楽大学に進学、卒業。卒業後は群馬の山奥の小学校で臨時教諭として担任を2年勤め、新しい試みで授業を活性化させ「元気印の先生」として保護者・生徒から親しまれた。/「学校」の外の一般社会で挑戦しようとベンチャー企業の(株)シートゥーネットワーク（※スーパーマーケットを経営。店頭公開から一部上場、外資系企業に転換）に社長秘書として入社。のち店舗現場に異動、同社で初の女性店長となる。その後、人材開発部長を拝命。/『人を活かす』経営を学ぶため一念発起しカナダに留学。外から見た日本の将来に、漠然とした不安を感じる。帰国後は、不動産投資会社にて企画業務、税理士対応、広報などに従事。2011年4月、初当選。顔の見える議員として、日々奮闘中。

東大和市 市議会議員
和地 ひとみ

■ 連絡先 和地 ひとみ事務所 HP : <http://www.wachi1103.jp>
✉ wachi_hitomi@cocoa.ocn.ne.jp 【電話・FAX】 042-516-8546
〒207-0005 東大和市高木3-274-2-102